

CentreCOM® x510L シリーズ



Switch



Non-PoE+ モデル
AT-x510L-28GT-Z1
AT-x510L-52GT-Z1



PoE+ モデル
AT-x510L-28GP-Z1
AT-x510L-52GP-Z1



SFP+ モジュール※1
AT-SP10T-Z1
AT-SP10SR-Z1 AT-SP10LR-Z1
AT-SP10ER40/I-Z1 AT-SP10ZR80/I-Z1
AT-SP10BD10/I-12・13-Z1
AT-SP10BD20-12・13-Z1
AT-SP10BD40/I-12・13-Z1
AT-SP10TW1・3・7-Z1



SFP モジュール
AT-SPTXa-Z1
AT-SPSX-Z1 AT-SPSX2-Z1 AT-SPLX10-Z1
AT-SPLX40-Z1 AT-SPZX80-Z1
AT-SPBDM-A・B-Z1 AT-SPBD10-13・14-Z1
AT-SPBD40-13/I・14/I-Z1 AT-SPBD80-A・B-Z1



カッパースタックモジュール(1m)
AT-StackXS/1.0-Z1



マネージメントケーブル
AT-VT-Kit3

※ [-Z1] はデリバリースタンド1年加入権利付き



AT-x510L-28GT
AT-x510L-28GP

10/100/1000T
24Ports自動認識

SFP/SFP+※1
4Slots

AT-x510L-52GT
AT-x510L-52GP

10/100/1000T
48Ports自動認識

SFP/SFP+※1
4Slots

CentreCOM x510Lシリーズは、Non-PoE+モデルやPoE+(IEEE 802.3at対応)モデルをラインナップするギガビット・インテリジェント・スタックブルスイッチです。

AT-x510L-28GTは10/100/1000BASE-Tポートを24ポート、AT-x510L-52GTは10/100/1000BASE-Tポートを48ポート装備したNon-PoEモデル、AT-x510L-28GPは10/100/1000BASE-Tポートを24ポート、AT-x510L-52GPは10/100/1000BASE-Tポートを48ポート装備したPoE+対応モデル、全モデルに4つのSFP/SFP+スロット(2スロットはスタックポートとの兼用)を搭載しています。

セキュリティ・認証・省エネ機能などの豊富なレイヤー2Plus機能をサポートしているため、中・大規模ネットワークのエッジ・スイッチとして使用した場合、ネットワークエッジのインテリジェント化を最適なコストで実現します。またスタティックルーティングや最大4台までのVCS(Virtual Chassis Stack)をサポートしており、ディストリビューション・スイッチとしても十分な性能を有しています。

全世界で多くの導入実績を持つAlliedWare Plus(AW+)を採用しており、高い堅牢性と高度な機能セットを提供するだけでなく、アライドテレシス独自のAllied Telesis Management Framework(AMF)に対応するため、他アライドテレシス社製スイッチやルーターと統合管理を容易に実現できます。

また、ファームウェアバージョン5.4.6以降にてAT-SecureEnterpriseSDN Controller(AT-SESC)に対応、SDN/OpenFlowを生かしたソリューション構築を実現します。

※1 SFP+モジュールの使用には、オプション(別売)のCentreCOM x510Lシリーズ用10Gライセンス[AT-x510L-FLO7]が必要です。

本体にサポートサービス(デリバリースタンド)の加入権をバンドルした型番をご用意しています。デリバリー2、デリバリー6、またはオンサイトサービスをご希望の場合には、加入権がバンドルされていない型番にてご購入いただき、別途有償サポートサービスをご契約ください。

本データシートでは、製品名中の「CentreCOM」を一部省略しています。弊社では、ネットワークマネジメントソフトウェア製品のお試し版を、Webサイトから提供しております。弊社ホームページ(<http://www.allied-teleasis.co.jp/support/list/nms/>)からダウンロードできます。

- OPTION
- SFPモジュール
- SFP+モジュール※1
- スタックモジュール
- 壁設置ブラケット
- コンソールケーブル
- L字型電源ケーブル
- フィーチャーライセンス

SWITCH Total Networking Solutions

特長

● AlliedWare Plus (AW+)

機能ごとのモジュールに分割されており、単一の障害が与える影響範囲を最小限に抑えることが可能です。これにより、旧来方式の製品と比べシステム全体の可用性が格段に高まります。

また、業界標準のコマンド体系に準拠し、他社製品からの移行においても、エンジニアの教育にかかる時間と経費を大幅に削減することができます。

● ネットワークインフラのユニファイド化

Allied Telesis Management Framework (AMF) は、ネットワーク上のスイッチやルーターを仮想的な1台の機器として統合管理し、管理・運用の「一元化」、「簡素化」、「自律化」によって、管理・運用に関わるコストの削減を実現するネットワーク仮想化機能です。

AMFは統合管理を行うAMFマスターと管理されるAMFメンバーからなり、次の5機能により、ネットワークの統合管理を行います。

● 一元管理 (セントライズドマネージメント)

AMFマスターから多数のAMFメンバーを一元管理します。

● 自動構築 (オートレジリエントコネクション)

AMFネットワークの自動構築、およびAMFメンバーの自動認識を行います。

● 自動復旧 (スマートプロビジョニング)

AMFメンバー設置時の自動設定 (ゼロタッチインストール)、AMFメンバー故障時における交換機器の自動復旧 (オートリカバリー)、複数AMFメンバーに対するファームウェアの一括アップグレードや設定変更、一括バックアップを行います。

● 非AMF装置対応 (ワイドエリアバーチャルリンク)

非AMF装置の混在や広域商用回線を介したAMFネットワークの構築が可能です。さらに、広域商用回線を介して本機能を利用しているAMFメンバーの自動復旧にも対応します (ネイバーリカバリー^{*1}、シングルノードリカバリー)

● 分散マスター処理 (AMFコントローラー)

AMFマスターの分散配置と統合管理により、大規模ネットワークに対応します。

x510LシリーズはAMFメンバー機能に対応しており、IPカメラや無線LANアクセスポイントなど、PoE受電デバイスを多数収容したエッジ・スイッチとしての利用や、VCS構成で冗長性を高めたディストリビューション・スイッチとしての利用など、いずれの用途においてもAMFマスターと組み合わせることで統合管理が可能となり、ネットワークディストリビューションからエッジの管理性を飛躍的に向上させ、管理・運用コストの最適化を実現します。

^{*1} ファームウェアバージョン5.4.5-1.1以降よりサポート

● AMF-SECソリューション対応

AMF-SEC (AMF-SECurity) は、ファイアウォールやUTMなどのセキュリティアプライアンスや、人材管理・資産管理などのビジネス・アプリケーションなどとネットワーク機器を連携させ、ネットワークも含めたITシステムの設定変更やセキュリティア管理を自動化するソリューションです。

本製品は、AMF-SECソリューションにおけるエッジ・スイッチとして動作し、例えばファイアウォールと連携するとファイアウォールが検知した被疑情報をもとに、該当する被疑端末が接続されているスイッチのポートを自動的に遮断することで被疑端末の隔離ができます。これによりIOT端末などでのLAN内の二次感染を防ぐことが可能です。

^{*2} サポートするSDN/OpenFlowコントローラーは、AMF-SECコントローラー (AT-SESC/SecureEnterpriseSDN Controller) です。

AMF-SECコントローラー、および連携可能なアプリケーションについては、弊社ホームページにてご確認ください。

● VCS (バーチャルシャーシスタック)

複数のスイッチを双方向40Gbpsの帯域幅を持つ専用のスタックモジュール「AT-StackXS/1.0」で接続することにより、1台の仮想スイッチとして扱うことができます。VCSグループは、最大4台のx510Lシリーズを自由に組み合わせて構築できます。スタック接続されたスイッチはバーチャルIPアドレス/MACアドレスを用いてIPアドレス/MACアドレスを共有し、かつ、L2テーブル、QoS、アクセスリストなどの各種情報を同期することでVCS構成時のマスター/スレーブの高速切替を実現したVCSファストフェイルオーバー (VCS-FF) に対応しています。よって、仮に1台に障害が発生しても運用継続が可能となり、ネットワークダウン・セッションダウンにシビアな環境やアプリケーションへの適応が可能となります。また、VCSで接続されたスイッチはオールアクティブで稼動するため、ネットワーク資産の有効活用化も実現します。

●PoE+ (IEEE 802.3at) をサポート

従来のPoE (IEEE 802.3af) に加え、高容量給電が可能なPoE+ (IEEE 802.3at) に対応しております。装置全体として、185Wまで給電可能なため、PoE+対応無線LANアクセスポイントやネットワークカメラ等の様々なPoE+受電機器が接続可能です。クラス3 (15.4W) の受電機器を接続する場合、12ポートまで同時給電可能です。

●充実したセキュリティー機能

• 強固な認証機能をサポート

同一ポート上でIEEE 802.1X認証/Web認証/MACアドレスベース認証の混在を可能とするTri-Auth機能や、同一ポート上でユーザーごとに別々の認証方式で認証し、かつ異なるVLANを動的に付与するマルチプルダイナミックVLAN機能など様々な認証機能に対応し、柔軟な認証環境を実現します。

- Tri-Auth、マルチプルダイナミック VLAN、L3モードエンハンスド ゲストVLAN、Auth-fail VLAN、プロミスキャス/インターセプトWeb認証、2ステップ認証に対応

• 多種多様なセキュリティー機能の搭載

通信内容を暗号化し、安全なリモートアクセス環境を実現するSSHや、ネットワークの集中管理・運用面においても安全性と利便性・運用性を両立するSNMPv3の暗号化・認証機能など、様々なセキュリティー機能をサポートしています。

- ポートセキュリティー、SSH (Secure Shell)、DHCPスヌーピング、SNMPv3、ユーザー認証データベース (RADIUS/TACACS+ 認証) に対応

●IPv6環境へシームレスな移行

x510Lシリーズでは標準搭載ソフトウェアにて、IPv6管理インターフェースやSNMP、NTPなどのIPv6マネジメント機能、MLDv1/v2スヌーピングやRAガード、DHCPリレーやDNSリレーといったIPv6付加機能など、様々なIPv6ベーシック機能に対応するため、将来のIPv6環境化に対して最大限の投資効果を発揮する製品となっています。

●ループガード

LDFやMACスラッシング検出など多彩なループガード機能により、接続ミスなどで発生したネットワークループを自動検出し、設定した動作 (ポートディセーブルなど) を自動実行するループガードに対応しています。LEDの点滅で視覚的に表示されるため、該当ポートを容易に特定することができます。

●10ギガビットイーサネットモジュール (SFP+) に対応

オプション (別売) の10Gライセンス [AT-x510L-FL07] を導入することで、高速イーサネット技術「10ギガビットイーサネット」に対応。

オプション (別売) のSFP+モジュールを搭載することで、高速/大容量の10ギガビットイーサネット環境を提供します。*3

*3 スタックモジュール [AT-StackXS/1.0] の利用には [AT-x510L-FL07] は不要です。

●アクティブファイバーモニタリング

光ファイバーの受信光レベルを常に監視し、設定したしきい値を下回ると自動的にポートのリンクダウンやSNMPトラップによる通知を実施することかできるため、光ファイバーケーブルの破損などの状況を迅速に把握することができます。

*4 SFP/SFP+光ファイバーポートでのみ有効。本機能をサポートするSFP/SFP+モジュールについては、コマンドリファレンスをご覧ください。

CentreCOM® x510Lシリーズ

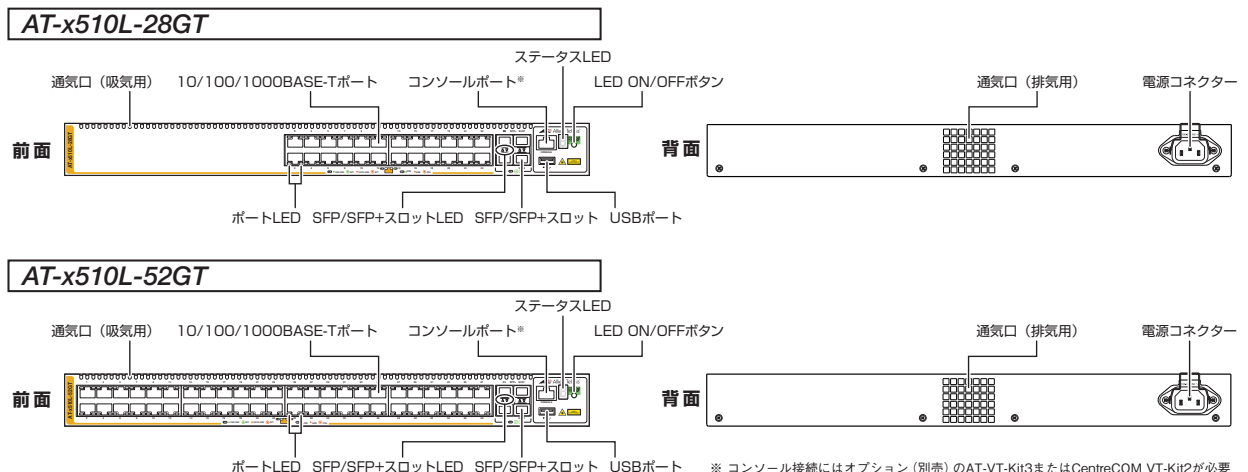
仕様			
準拠規格	IEEE 802.3 10BASE-T IEEE 802.3u 100BASE-TX IEEE 802.3z 1000BASE-LX/SX*1 IEEE 802.3ab 1000BASE-T IEEE 802.3ah 1000BASE-BX10*1 IEEE 802.3ae 10GBASE-ER/LR/SR*2*3 IEEE 802.3an 10GBASE-T*2*3 IEEE 802.3x Flow Control IEEE 802.3af Power over Ethernet*4 IEEE 802.3at Power over Ethernet+*4 IEEE 802.3az Energy-Efficient Ethernet IEEE 802.1D-2004 Spanning Tree, Rapid Spanning Tree*5 IEEE 802.1Q-2003 GVRP IEEE 802.1Q-2005 VLAN Tagging, Multiple Spanning Tree*6 IEEE 802.1X Port Based Network Access Control IEEE 802.1AB Link Layer Discovery Protocol IEEE 802.1AX-2008 Link Aggregation (static and dynamic)*7 IEEE 802.1p Class of Service, priority protocol IEEE 802.1ag Connectivity Fault Management ITU-T G.8032 ERPS		
適合規格	CE	安全規格 UL60950-1, CSA-C22.2 No.60950-1 EMI規格 VCCIクラスA AT-x510L-52GT:KC MSIP-REM-amf-AT-x510L-52GT EU RoHS指令	
マネージメント*8	SNMP	SNMPv1/v2c/v3 SNMP MIB MIB II (RFC1213) IP Forwarding Table MIB (RFC2096) Extended Bridge MIB (RFC2674)*9 Extended Interface MIB (RFC2863) SNMPv3 MIB (RFC3411 ~ RFC3415) SNMPv2 MIB (RFC3418) PoE MIB (RFC3621)*4 Ethernet MIB (RFC3635) IEEE 802.3 MAUs MIB (RFC3636) Bridge MIB (RFC4188) RSTP MIB (RFC4318) DISMAN ping MIB (RFC4560) VRRPv3 MIB (RFC6527) Entity MIB (RFC6933) LLDP MIB (IEEE 802.1AB) LLDP-MED MIB (ANSI/TIA-1057)*4 Private MIB RMON 1,2,3,9 Group ターミナル Telnet,VT100互換端末(コンソールポート経由)	
通信速度	10Mbps/100Mbps/1000Mbps/10Gbps*2*3		
ポート	—	[AT-x510L-28GT]	[AT-x510L-52GT]
	10/100/1000BASE-T (RJ-45コネクタ)	× 24	× 48
	オートネゴシエーション 10M/100M Full/half固定設定、1000M Full固定設定 MDI/MDI-X自動認識、MDI/MDI-X固定設定		
	SFP/SFP+スロット	× 4*10	× 4*10
	RS-232 (RJ-45コネクタ)	× 1*11	× 1*11
	USBポート (USB 2.0, タイプA(メス))	× 1*12	× 1*12
	—	[AT-x510L-28GP]	[AT-x510L-52GP]
	10/100/1000BASE-T (RJ-45コネクタ)	× 24 (PoE-OUT)	× 48 (PoE-OUT)
	オートネゴシエーション 10M/100M Full/half固定設定、1000M Full固定設定 MDI/MDI-X自動認識、MDI/MDI-X固定設定		
	SFP/SFP+スロット	× 4*10	× 4*10
	RS-232 (RJ-45コネクタ)	× 1*11	× 1*11
	USBポート (USB 2.0, タイプA(メス))	× 1*12	× 1*12
使用ケーブル	—	非PoE	PoE*13
	10BASE-T	UTPカテゴリ-3以上	UTPカテゴリ-5以上
	100BASE-TX	UTPカテゴリ-5以上	UTPカテゴリ-5以上
	1000BASE-T	UTPカテゴリ-5以上	UTPカテゴリ-5以上
切替スイッチ	LED ON/OFF ボタン	LEDの消灯(エコLED)、通常動作の切り替え	
パフォーマンス	—	[AT-x510L-28GT]	[AT-x510L-52GT]
	スイッチング方式	ストア&フォワード	
	最大パケット転送能力 (装置全体/64Byte)	95.23Mpps	130.94Mpps
	スイッチング・ファブリック	128Gbps	228Gbps
	メモリー容量		
	フラッシュメモリー	64MByte	
	メインメモリー	512MByte	
	MACアドレス登録数	16K*14	
	VLAN登録数	4,094個 (VID=1 ~ 4,094)*15	
	IPv4ホスト(ARP)登録数	2K*14	
	IPv4ルート登録数	1K*14*16	
サポート機能	AMFメンバー機能、IPv4スタティックルーティング、IGMPv1/v2/v3、ハードウェアパケットフィルタ、ポリシーベースルーティング、マルチホーミング、VLAN (ポートベース/IEEE 802.1Qタグベース/IPサブネットベース/プロトコルベース)、マルチプルVLAN、UFO (Upstream Forwarding Only)、GVRP、QoS (IEEE 802.1p/ポリシーベース/メータリング/シェーピング)、ポートリンクリング (IEEE 802.3ad LACP/Manual Configuration)、ブロードキャスト/マルチキャスト/未学習ユニキャストパケットフィルタリング、スパンニングツリー (IEEE 802.1D/IEEE 802.1w/IEEE 802.1s)、BPDUガード、BPDUフィルタ、スパンニングツリーポートファスト、PVST+ Compatibility、イーサネットリングプロテクション (EPSR)、EPSRエンハンスドリカバリ、EPSRスーパールーブリケーション (EPSR-SLP)、ポート帯域制限、ポートミラーリング、リモートミラーリング、ポートセキュリティ、フローコントロール*17、アクティブファイバモニタリング*18、LLDP、LLDP-MED、Voice VLAN、ループガード (LDF検出/MACスラッシング検出/受信レート検出 (QoSストームプロテクション))、パケットストームプロテクション、IEEE 802.1X認証モード (Single Host/Multiple Host/Multiple Authentication)、802.1X暗号方式 (MD5/TLS/TTLS/PEAP)、ダイナミックVLAN、L3モード エンハンスド ゲストVLAN、Auth-fail VLAN、マルチプルダイナミックVLAN、マルチVLANセッション、MACアドレスベース認証、Supplicant MAC認証、Web認証、プロミスキャス/インターセプトWeb認証、2ステップ認証、Web Proxy for Web認証、ポート認証設定テンプレート化、ポート認証とDHCPサーバーの連携、ケーブル診断、ローカルRADIUSサーバー、RADIUSクライアント、RADIUSプロキシー、TACACS+ (Accounting/Authentication/Logging)、IGMPv1/v2/v3スヌーピング、EAP/BPDU透過、Jumboフレーム対応*19、バーチャルシャーシスタック、スイッチポートレジリエンシーリンク、攻撃検出、BOOTP/DHCPリレー、DNSリレー、DHCPサーバー、DHCPクライアント、DHCPスヌーピング、VRRPv3、MLDv1/v2、Pingボーリング、ARP、プロキシー ARP、ローカルプロキシー ARP、ディレクテッドブロードキャスト転送制御、UDPブロードキャストヘルパー、SMTP認証、ログ (外部メディア出力対応)、スクリプト、トリガー、USBトリガー、NTP、Secure Shell、sFlow、TFTP/Zmodem/HTTPによるソフトウェア/設定ファイルダウンロード、IPv6 Basic、IPv6スタティックルーティング、IPv6-SNMPv1/v2c/v3、MLDv1/v2スヌーピング、NTPv6、DHCPv6リレー、DNSv6クライアント/リレー、DHCPv6サーバー、DHCPv6クライアント、DHCPv6-PD、RAガード、スタティックIPv6マルチキャストルーティング、HOLプロキシング防止、Findme		
サポート機能	アプリケーションライセンス (AT-x510L-FL03)		
【ライセンス機能】	UDLD 10Gライセンス (AT-x510L-FL07) 10G SFP+ モジュールを使用可能にするためのライセンス インダストリアルアプリケーションライセンス (AT-x510-FL10) イーサネット CFM (IEEE 802.1ag)、G.8032 (ERPS) OpenFlow機能ライセンス (AT-x510-FL15)*20 OpenFlow1.3対応		
LED	ポートLED*21		
	L/A	緑	1000Mbpsでリンク確立時に点灯、パケット送受信時に点滅
		橙	10/100Mbpsでリンク確立時に点灯、パケット送受信時に点滅
	D/C*22	緑	Full Duplexでリンク確立時に点灯
		橙	Half Duplexでリンク確立時に点灯、コリジョン発生時に点滅
	PoE*4	緑	受電機器へのPoE電源供給時に点灯
		橙	受電機器の異常発生時、ポートの出力電力が上限値を上回ったことによるポートへの給電停止時に点灯、PoE電源の電力使用量が最大供給電力を上回ったことによるポートへの給電停止時に点滅
	SFP/SFP+スロットLED*21		
	L/A	緑	1000M/10Gbpsでリンク確立時に点灯、10Gbpsでパケット送受信時に点滅
	ステータスLED (7セグメントとドットによる表示)		
		緑	VCS機能が無効で、単体での動作時に点灯
		緑	VCS機能が有効で、スタックメンバーとして動作時に点灯 (数字はスタックメンバーID)
		緑	ファンまたは内部温度の異常発生時に点灯
		緑	LED ON/OFFボタンによるLED OFF設定時に点灯。横3セグメントは以下の状態を表示 上:スタックメンバーのマスターとして動作 中:VCS機能が無効で、単体で動作 下:スタックメンバーのスレーブとして動作
		緑	USBメモリー接続時に点灯、USBメモリーの書き込み/読み出し中に点滅
		緑	本製品の起動中に点灯
電源部	[AT-x510L-28GT]	[AT-x510L-52GT]	
定格入力電圧	AC100-240V*23	AC100-240V*23	
入力電圧範囲	AC90-264V*23	AC90-260V*23	
定格周波数	50/60Hz	50/60Hz	
定格入力電流	1.0A	1.0A	
最大入力電流 (実測値)*24	1.1A	0.99A	
平均消費電力*24	44W (最大55W)	72W (最大89W)	
平均発熱量*24	160kJ/h (最大200kJ/h)	260kJ/h (最大320kJ/h)	

仕様

電源部	[AT-x510L-28GP]		[AT-x510L-52GP]	
	定格入力電圧	AC100-240V ^{*23}	AC100-240V ^{*23}	AC100-240V ^{*23}
入力電圧範囲	AC90-264V ^{*23}	AC90-264V ^{*23}	AC90-264V ^{*23}	AC90-264V ^{*23}
定格周波数	50/60Hz	50/60Hz	50/60Hz	50/60Hz
定格入力電流	3.0A	3.0A	3.0A	3.0A
最大入力電流 (実測値) ^{*24}	3.3A	3.3A	3.7A	3.7A
平均消費電力 ^{*24}	160W (最大300W)		180W (最大330W)	
平均発熱量 ^{*24}	560kJ/h (最大1100kJ/h)		630kJ/h (最大1200kJ/h)	
PoE	給電方式	オルタナティブA		
	最大供給電力	1ポートあたり	30W	装置全体
環境条件	動作時温度	0~45°C		
	動作時湿度	0~40°C: AT-x510L-28GPのみ		
	保管時温度	80%以下 (結露なきこと)		
	保管時湿度	-20~60°C		
外形寸法 (突起部含まず)	[AT-x510L-28GT] / [AT-x510L-52GT]	[AT-x510L-28GP] / [AT-x510L-52GP]	[AT-x510L-28GP] / [AT-x510L-52GP]	[AT-x510L-28GP] / [AT-x510L-52GP]
	441 (W) × 323 (D) × 44 (H) mm	441 (W) × 398 (D) × 44 (H) mm	441 (W) × 398 (D) × 44 (H) mm	441 (W) × 398 (D) × 44 (H) mm
質量	[AT-x510L-28GT]	[AT-x510L-52GT]	[AT-x510L-28GP]	[AT-x510L-52GP]
	4.2kg	4.8kg	5.2kg	5.7kg
パッケージ内容 ^{*11}	本体、電源ケーブル ^{*23} 、19インチラックマウントキット(1式)、電源ケーブル抜け防止フック、梱包内容、本製品をお使いの前に、英文製品情報 ^{*25} 、製品保証書(5年間)、シリアル番号シール(2枚)			
オプション (別売)	CentreCOM x510L シリーズ用フィーチャーライセンス ^{*27} :			
	[「Z1」はデリバリアスタンダード1年加入権付製品 ^{*26}	AT-x510L-FL03-Z1	アプリケーションライセンス	
		AT-x510L-FL07-Z1	10Gライセンス	
		AT-x510L-FL10-Z1	インダストリアルアプリケーションライセンス	
		AT-x510L-FL15-Z1	OpenFlow機能ライセンス ^{*20}	
	SFP モジュール:			
	AT-SPTXa-Z1 ^{*28}	1000BASE-T (RJ-45 コネクタ)		
	AT-SPSX-Z1	1000BASE-SX (2連LCコネクタ)		
	AT-SPSX2-Z1	1000M MMF (2km) (2連LCコネクタ)		
	AT-SPLX10-Z1	1000BASE-LX (2連LCコネクタ)		
	AT-SPLX40-Z1	1000 SMF (40km) (2連LCコネクタ)		
	AT-SPZX80-Z1	1000M SMF (80km) (2連LCコネクタ)		
	AT-SPBDM-A・B-Z1	1000M MMF (550m) (LCコネクタ)		
	AT-SPBD10-13・14-Z1	1000BASE-BX10 (LCコネクタ)		
	AT-SPBD40-13/14/I-Z1	1000M SMF (40km) (LCコネクタ)		
	AT-SPBD80-A・B-Z1	1000M SMF (80km) (LCコネクタ)		
	SFP+ モジュール ^{*3} :			
	AT-SP10T-Z1 ^{*29}	10GBASE-T (RJ-45 コネクタ)		
	AT-SP10SR-Z1	10GBASE-SR (2連LCコネクタ)		
	AT-SP10LR-Z1	10GBASE-LR (2連LCコネクタ)		
	AT-SP10ER40/I-Z1	10GBASE-ER (2連LCコネクタ)		
	AT-SP10ZR80/I-Z1	10G SMF (80km) (2連LCコネクタ)		
	AT-SP10BD10/I-12・13-Z1	10G SMF (10km) (LCコネクタ)		
	AT-SP10BD20-12・13-Z1	10G SMF (20km) (LCコネクタ)		
	AT-SP10BD40/I-12・13-Z1	10G SMF (40km) (LCコネクタ)		
	AT-SP10TW1-Z1 ^{*30}	SFP+ ダイレクトアタッチケーブル (1m)		
	AT-SP10TW3-Z1 ^{*30}	SFP+ ダイレクトアタッチケーブル (3m)		
	AT-SP10TW7-Z1 ^{*30}	SFP+ ダイレクトアタッチケーブル (7m)		
	AT-StackXS/1.0-Z1	カップスタックモジュール (1m)		
	AT-BRKT-J22	壁設置ブラケット		
	コンソールケーブル ^{*11} :			
	AT-VT-Kit3	マネージメントケーブル(RJ-45(メス)/USB)		
	CentreCOM VT-Kit2	RS-232ケーブル(RJ-45/D-Sub 9ピン)		
	AT-PWRCBL-J01L/J01R	L字型コネクタ電源ケーブル(左/右) ^{*31}		

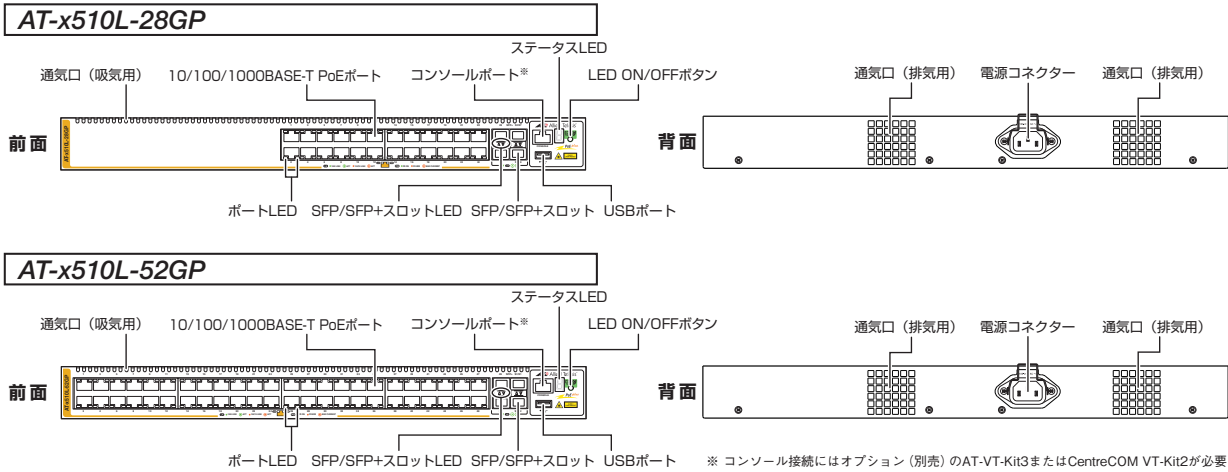
- ※1 対応SFPモジュール装着時
- ※2 対応SFP+モジュール装着時
- ※3 SFP+モジュールの使用には、CentreCOM x510L シリーズ用10Gライセンス[AT-x510L-FL07]が必要です。
- ※4 AT-x510L-28GP / AT-x510L-52GPのみ
- ※5 IEEE 802.1w Rapid Spanning Tree 包含
- ※6 IEEE 802.1s Multiple Spanning Tree 包含
- ※7 IEEE 802.3ad と同等
- ※8 トラブル情報は、弊社ホームページにてご確認ください。
- ※9 Q-BRIDGE-MIBのみサポート
- ※10 AT-x510L-28GT・AT-x510L-28GPのポート27, 28、AT-x510L-52GT・AT-x510L-52GPポート51, 52はスタックポートとして使うか、拡張用のスイッチポートとして使うかを選ぶことができます。VCS機能を有効に設定するとスタックポートに、無効に設定するとスイッチポートになります。
- ※11 本製品にはコンソールポート接続用ケーブルは同梱されておりません。また、出荷時はIPアドレスが付与されておりませんので、別途、マネージメントケーブル[AT-VT-Kit3]またはRS-232ケーブル[CentreCOM VT-Kit2]をご用意ください (AT-VT-Kit3には、別売のUTPケーブルが必要です)。
なお、AT-VT-Kit3のUSB使用時の対応OSは、弊社ホームページにてご確認ください。
- ※12 USB 2.0のUSBメモリーをご使用ください。また、ご使用の際には、お客様の使用環境で事前に検証を行ったうえで導入してください。
- ※13 8線結線のストレートタイプのUTPケーブルをお勧めします。
- ※14 表中では、K=1024
- ※15 IPアドレスの設定が可能なVLANは256個
- ※16 システムパフォーマンス上、インターフェース経路は256、スタティック経路は256まで登録可能。これ以上の登録は動作保証外です。
- ※17 52ポート版(AT-x510L-52GT、AT-x510L-52GP)、およびVCS構成時は、PAUSEフレームの送信(both)はサポート対象外で、PAUSEフレームの受信(receive)のみをサポート
- ※18 SFP/SFP+光ファイバポートでのみ有効。本機能をサポートするSFP/SFP+モジュールについては、コマンドリファレンスをご覧ください。
- ※19 1312Byte以下
- ※20 ファームウェアバージョン5.4.6以降にてサポート。サポートするSDN/OpenFlowコントローラーは、AT-SecureEnterpriseSDN Controller(AT-SESC)です。本ライセンス適用時のOpenFlow以外の機能動作については、弊社ホームページに掲載のマニュアルおよびコマンドリファレンスをご確認ください。
なお、ファームウェアバージョン5.4.7-0.x、5.4.7-2.xのそれぞれでライセンス形態が変更されています。5.4.6で発行されたライセンスキーは、ファームウェアバージョン5.4.7以降では使用できなくなります。また、5.4.7-0.x、5.4.7-1.xで発行されたライセンスキーは、5.4.7-2.x以降では使用できなくなります。OpenFlow機能ライセンスを適用されている場合、ファームウェアバージョンアップの際にはご注意ください。詳細はリリースノートをご確認ください。
- ※21 LED ON/OFFボタンによって消灯可能(エコLED)
- ※22 AT-x510L-28GT / AT-x510L-52GTのみ
- ※23 同梱の電源ケーブルはAC100V用です。AC200Vでご使用の場合は、設置業者にご相談ください。
- ※24 AT-SP10T×2個またはAT-SP10ZR80/1×4個 使用時
- ※25 日本語版マニュアルのみに従って、正しくご使用ください。
- ※26 Zは「デリバリアスタンダード」、下1桁目は提供年数を表します。
- ※27 VCS構成でフィーチャーライセンスの各機能を利用する場合は、VCSマスターおよびVCSスレーブの双方に同一のフィーチャーライセンスが必要です。
- ※28 1000Mでの接続のみサポートしています。
- ※29 10Gでの接続のみサポートしています。また、AT-SP10T使用時は上下左右に隣接するSFP/SFP+スロットを空きスロットにしてください。SFP/SFP+スロット4個のうち、半数のSFP/SFP+スロットにのみ搭載可能です。
- ※30 ダイレクトアタッチケーブルは、弊社製品同士での接続のみサポート対象となり、他社製品との接続はサポート対象外となります。他社製品との接続が必要な場合は、ダイレクトアタッチケーブル以外のSFP+モジュールを用いて、事前に十分な検証を行ったうえで接続するようにしてください。
- ※31 電源ケーブル抜け防止フックとの併用はできません。

外観図



CentreCOM® x510Lシリーズ

外觀図

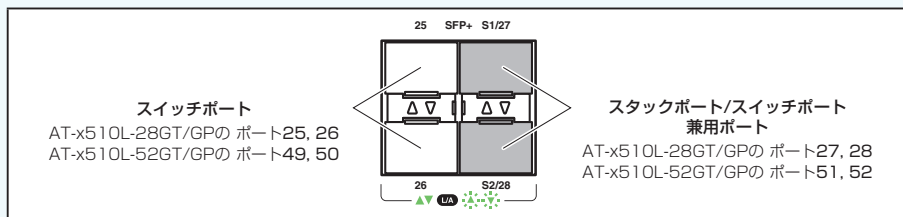


● SFP/SFP+ スロットを利用したスタック接続 (VCS)

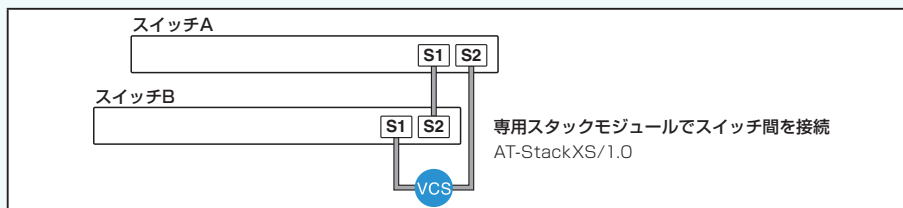
AT-x510L-28GT/GPのポート27, 28, AT-x510L-52GT/GPのポート51, 52はスタックポートとして使うか、拡張用のスイッチポートとして使うかを選ぶことができます。

CLI上で、VCS機能を有効に設定するとスタックポートに、無効に設定するとスイッチポートになります (VCS機能は初期設定で有効化されています。なお、有効・無効を設定変更するには、システムの再起動が必要になります)。また、スイッチポートでSFP+モジュールを使用する場合、CentreCOM x510Lシリーズ用10Gライセンス「AT-x510L-FL07」が必要です。

本製品のSFP/SFP+ スロット (図は AT-x510L-28GT)



VCS機能有効時、末尾の2ポートはスタックポート1 (S1), 2 (S2) となり、複数のスイッチをリング状に接続するためのポートとして動作します。スタックポートとして使用する場合は、オプション (別売) の専用スタックモジュール「AT-StackXS/1.0」を装着してください。



※ VCSに関する詳細な情報は、弊社ホームページに掲載されています。ご使用の際は、必ずコマンドリファレンスの「バーチャルシャーシスタック (VCS)」をお読みになり内容をご確認ください。

安全のために
ご使用の際は製品に添付されたマニュアルをお読みになり正しくご使用ください。

●CentreCOM, CentreNET, SwitchBlade, TELESYN, AlliedView, VCStackロゴ, EPSRingロゴ, LoopGuardロゴ, PoE plusロゴ, AT-UWC, Allied Telesis Unified Wireless Controller, SecureEnterpriseSDNロゴ, AT-VA, AT-Vista Managerはアライドテレシスホールディングス(株)の登録商標です。●Windows, Windows Server, Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。●その他、会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。●仕様および外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。●お客様は、弊社販売製品を日本国外への持ち出しまたは「外国為替及び外国貿易法」に非居住者へ提供する場合は、「外国為替及び外国貿易法」を含む日本政府および外国政府の輸出関連法規を厳密に遵守することに同意し、必要とされるすべての手続きをお客様の責任と費用で行うことといたします。●弊社販売製品は日本国内仕様であり、日本国外においては製品保証および品質保証の対象外になり、製品サポートおよび修理など一切のサービスが受けられません。

ネットワーク構築などのご質問やご相談は
製品の詳しい情報は (特長、仕様、構成図、マニュアル等)

0120-860442 テレマーケティング (月～金/9:00～17:30)
ホームページ
<http://www.allied-telesis.co.jp/>

販売店

アライドテレシス株式会社

最寄りの営業所の連絡先は下記にてご確認ください

〒141-0031 東京都品川区西五反田7-21-11 第270Cビル

弊社ホームページ>>会社案内>>事業所一覧